





【避難支援訓練】



訓練は実任務の備え

# 香川県 総合防災訓練

【第14飛行隊の隊員によるホスト救助訓練】



【災害救助犬との交流】

11月8日、香川県消防学校において実施された『香川県総合防災訓練』に、第15即応機動連隊（連隊長 1等陸佐 柿内慎二）と第14飛行隊（隊長 2等陸佐 齋藤翔平）が、参加しました。

UH-1Jヘリコプターを使用したホスト救助やドローンを使用した被害情報収集のほか、小学生等の住民参加型の訓練では、96式装輪装甲車（WAPC）による被災者搬送訓練を実施し、防災関係機関との連携を強化しました。

第14旅団は、あらゆる災害を想定して自治体や関係機関との連携訓練を重ね、災害派遣任務を遂行できるよう、万全の準備を整えています。



【訓練開始式】



【偵察オートバイによる情報収集】

## 愛媛県原子力総合防災訓練

11月29日、四国電力伊方原子力発電所（愛媛県伊方町）において実施された『愛媛県原子力総合防災訓練』に参加しました。

本防災訓練では、情報伝達や住民の広域避難の手順等を確認しました。通行不可能な道路を復旧させる道路啓開や孤立地域からの住民避難など関係機関と連携した訓練を実施しました。第14旅団は、平時から備えを万全にし、関係機関との連携強化により、地域の安心・安全確保に寄与します。



【第14飛行隊による孤立地域からの住民避難訓練】

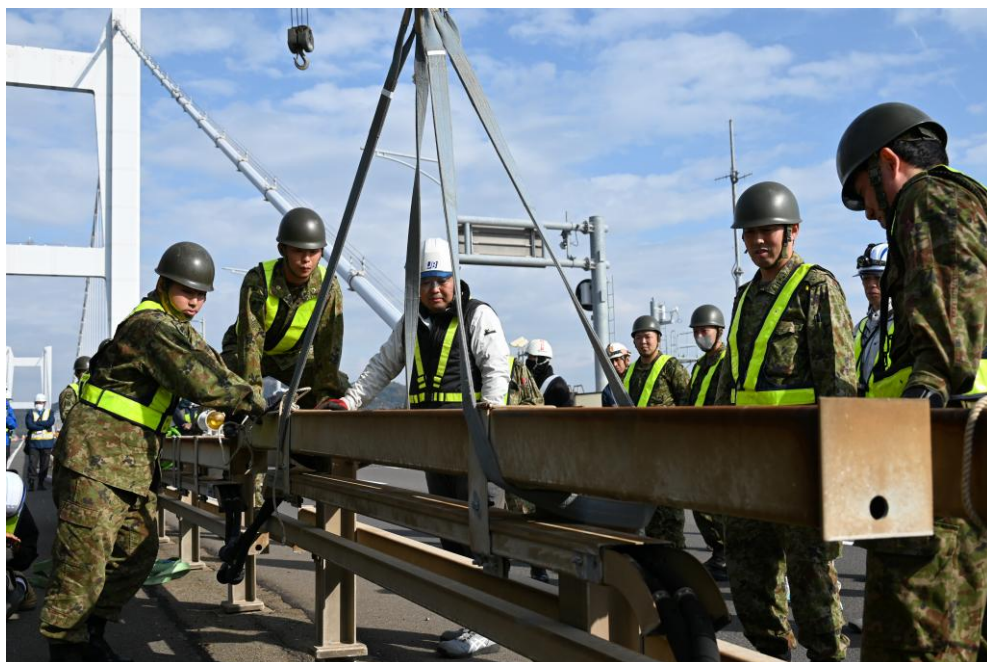


【道路啓開訓練】

# 本州四国連絡高速道路（株）坂出管理センター 合同災害対処訓練

12月1日、下津井瀬戸大橋上において、本州四国連絡高速道路（株）坂出管理センター及び本四高速道路ブリッジエンジン（株）と第14旅団による、『合同災害対処訓練』を実施しました。本訓練では、道路の片側が走行不能となったことを想定し、中央分離帯のガードレールを開放し反対車線から緊急車両を通行させる道路啓開作業の手順を確認しました。災害時には、自衛隊が単独で啓開作業ができるよう、一つ一つの作業を慎重に確認しながら安全第一で訓練を実施しました。

第14旅団は、大規模災害に備え、いかなる状況でも安全で確実、かつ円滑な作業により早期に緊急輸送路を確保するため、即応態勢の確立に努めてまいります。



【開口部の電源線切り離し】



【ユニックによる支柱撤去】



【ゴムマットの設置】



【道路啓開作業完了後の開口部】



【開口部の乗り越え訓練】

## 厳冬下で強く 北海道訓練センター第3次運営（HTC）

**第50普通科連隊**（隊長 水関謙作 1等陸佐）は、11月、矢臼別演習場（北海道）において、北海道訓練センター第3次運営（HTC）に参加し、併せて第4次連隊野営訓練を実施しました。本訓練では、多職種部隊とともに『戦闘団』を編成して、交戦装置を用いた実戦的な環境で訓練を行いました。

冬の北海道という厳しい寒さの中、戦闘力の組織化、障害・情報・火力の連携、射撃及び観測を継続できる掩体の構築等を実施し、部隊の任務遂行能力を向上させるとともに、抑止及び対処の実効性の向上を図りました。



【編成完結式での訓示を述べる水関連隊長】



【夜間における掩体構築】



【直接警戒】

## 日々進化 第2次隊野営

**第14旅団司令部付隊**（隊長 玉置徳和 3等陸佐）は、11月下旬、作戦遂行能力の向上に向けた第2次隊野営を実施しました。

司令部付隊は平素より旅団司令部を支える多様かつ重要な任務を担う部隊であり、本野営訓練では、築城訓練、警備訓練及び夜間の射撃訓練を実施し、有事の際、厳しく困難な環境においても任務を遂行することができる隊員の育成に留意をもって臨みました。



【築城訓練】



【警備訓練】

また、『本当にこの陣地で戦えるか？』と常に自問自答しながら創意を凝らして課題を解決し、成果を積み重ねた隊野営となりました。引き続き任務達成に必要な能力を着実に向上させていきます。

## 『感謝』を込めて 教育訓練基盤構築

**第14通信隊**（隊長 脇田祐一郎 2等陸佐）は、10月上旬、日本原演習場（岡山県）において「令和7年度第2次教育訓練基盤構築」に29名の隊員が参加しました。

今回は、約10日間にわたって、我々の「道場」である演習場に感謝の気持ちを込めて、演習場として必要な機能が損なわれないよう、機能維持のため基盤構築を実施しました。チェーンソーや草刈り機を慎重に使いこなし、訓練環境の質向上と安全確保につなげました。



【チェーンソーで樹木を切断する隊員】



【草刈り機で草を刈る隊員】



Before



After



Before



After

## 飛びたて、大空へ！ 無人偵察機展開訓練

**第14情報隊**（隊長 濱田安彦 2等陸佐）は、高知県仁淀川町の鳥形山において無人偵察機の展開訓練を実施しました。

本訓練では、無人機の機材展開要領について演練するとともに、展開可能な地域の調査を実施し、情報収集能力の向上を図りました。

隊員個人の技量向上はもちろん部隊全体の即応能力の強化に繋がる訓練となりました。今回の成果をもとに、さらなる無人機運用能力・情報収集能力の強化に取り組みます。



【無人偵察機の発進準備】

## 心！技！体！ 格闘検定

**第14飛行隊**（隊長 斎藤翔平 2等陸佐）は、11月、格闘検定を実施しました。

杉村指導官を核心とした緻密な練成計画により、10日間という短い練成期間でも確実に格闘技術の練度を向上させ、全受検者が無事に合格しました。

第14飛行隊は引き続き間稽古を活用した格闘練成により心技体の向上を図ります！



【杉村指導官による練成】



【格闘検定を受検する隊員たち】



## 今年もやります！ 自動二輪集合教育

**第14偵察隊**（隊長 神品秀雄 2等陸佐）は、10月中旬から約1か月間、『自動二輪集合教育』を実施しました。

オートバイといえば偵察隊というイメージが強いですが、他の部隊でも、オートバイは活躍しています。今回の教育は、第14偵察隊及び第14旅団隷下部隊が教育に参加しました。

教育前半は、自動二輪免許を取得するべく、琴平ドライビングスクールで教習を受け、全員免許を取得しました。



【琴平ドライビングスクールでの自動二輪教習】



【特技教育を受ける隊員たち】



【練度判定】

教育後半は、自衛隊の中でオートバイを乗るための免許を取得するため『特技教育』を実施します。不整地・アクセルターン・ブレーキターンなど、オートバイを使用した任務に必要な技術を修得します。オートバイに乗ったら、どんな障害もバイクと一体になって乗り越えていかなければなりません。

教育開始直後は、転倒やエンストが多く見られていましたが、最後の卒業をかけた練度判定では全員が練成の成果を発揮して、無転倒・無エンストで合格することができました。

これから、事故なく人車一体となって活躍することを願っています。

## 化学対処の強化 化学火工品集合教育

**第14特殊武器防護隊**（隊長 松田秀司 3等陸佐）は、善通寺駐屯地及び国分台演習場（香川県）において、化学火工品集合訓練を実施しました。

本教育では、化学物質の性質や危険性を学ぶとともに、化学火工品の安全な取り扱いや防護・処理要領について修得します。隊員一人ひとりの専門知識と技術を高めるため、実践的な訓練を重視して実施しました。



【火工品の取り扱い実習】



【化学火工品の処理】

## 今年も力強い演奏を披露 阿波市防災フェスタ2025

**第14音楽隊**（隊長 平林誠 1等陸尉）は、11月16日、徳島県阿波市のアエルワホールにおいて、「阿波市防災フェスタ2025」が開催され、昨年に引き続き、音楽隊の多彩なプログラムで会場を盛り上げました。

演奏は2部構成で行われ、第1部では吹奏楽の魅力あふれるプログラムとして、行進曲「祖国」や、力強い北欧のサウンドが特徴の「ゲールフォース」を披露しました。

続く第2部では、松任谷由実さんの名曲「守ってあげたい」や、長尾省吾 陸士長によるサクソフォンソロ「追憶のテーマ」、高杉克海 3等陸曹と田村瑠菜 1等陸士が歌う「ふるさとの色」など、温かい雰囲気の演目が続きました。また、幅広い世代に人気の「J-BEST Mrs.Green Apple メドレー」やジャズの定番「バードランド」も演奏され、会場はリズムに合わせて体を揺らす観客であふれました。



アンコールでは、映画『天使にラブソングを…』の「I Will Follow Him」が披露され、会場から大きな拍手が送られました。

来場者はファミリー層が中心で、お年寄りから小さな子どもたちまでが終始、和やかな雰囲気の中で演奏を楽しんでおり、第14音楽隊の演奏がイベントにさらに温かみを添え、市民へ防災に対する関心や安心感を与えました。

## 信頼される連隊 第15即応機動連隊創隊8周年記念行事

**第15即応機動連隊**（連隊長 柿内慎治 1等陸佐）は、11月9日、善通寺駐屯地において『第15即応機動連隊創隊8周年記念行事』を挙りました。

観閲式では、多数のご来賓の方々と隊員ご家族のご臨席のもと、柿内連隊長は感謝の意を表するとともに、「国民の負託に応えることができる部隊『信頼される連隊』を育成できるよう日々精進していくことをここにお願い申し上げます。」と式辞を述べました。



【観閲式で式辞を述べる柿内連隊長】

観閲行進のほか、戦闘教練（隊員の基礎的動作及び部隊の基本的行動）と模擬戦闘訓練も披露し、WAPC、MCV、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲及び中距離多目的誘導弾など連隊の多彩な主力火器が登場した迫力ある戦闘シーンに来場者からは感嘆の声と大きな拍手が送られました。

様々なプログラムを終え第15即応機動連隊創隊8周年記念行事は盛会のうちに終了しました。引き続き柿内連隊長を核心として、『信頼される連隊』を目指し、任務達成に向けまい進していきます。



【模擬戦闘訓練展示】



【観閲行進】



【96式装輪装甲車体験搭乗】

## 精強の秘訣＝笑顔 徳島駐屯地開設13周年記念行事

**第14施設隊**（隊長 山北幸太郎 2等陸佐）は、11月3日、徳島駐屯地において、『徳島駐屯地開設13周年記念行事』を挙りました。

当日は、善通寺駐屯地、松山駐屯地及び北徳島分屯地に所在する部隊から支援を受け、県内外問わず大勢の方にご来場いただき、盛大に開催することができました。

記念行事では模擬戦闘訓練、装備品展示、体験搭乗等、施設科の見どころを紹介するとともに、来演いただいた阿波踊り連の方々や隊員、来場者が一体になって阿波踊りを踊り、たくさんの笑顔あふれる記念行事となりました。

第14施設隊はこれからも、徳島駐屯地の主力部隊として地域と連携し、地域とともに歩んでいく部隊を目指します。



【体験搭乗】



【装備品展示】



【模擬戦闘訓練展示】



【阿波踊り】

## 繋ぐ未来 第14後方支援隊創隊19周年記念行事

第14後方支援隊(隊長 渡邊修 1等陸佐)は、11月22日、善通寺駐屯地において『第14後方支援隊創隊19周年記念行事』を挙行了しました。

式典は、第14音楽隊の演奏から始まり、隊員の式々な様子をご来賓及び隊員家族の方々にご覧いただき、数多くの激励のお言葉をいただきました。

アトラクションでは、第14後方支援隊が所有している装備車両の紹介・展示を行い、より自衛隊を知っていただく機会となりました。また、96式装輪装甲車(WAPC)の体験搭乗や子供広場での輪投げ・ストラックアウト・制服等の試着など、隊員家族(子供たち)とのふれあいの場を設け、終始和やかな雰囲気で行われ、盛会のうちに終了しました。



【式辞を述べる渡邊隊長】



【巡閲】



【観閲部隊】



【祝賀会食】



【子供広場】



【WAPC体験搭乗】

## 更なる発展へ 松山駐屯地創立70周年記念行事

第14高射特科隊(隊長 岩月賢二 2等陸佐)は、10月19日、松山駐屯地において『松山駐屯地創立70周年記念行事』を挙行了しました。



【模擬戦闘訓練展示】



【装備品展示(93式短距離地对空誘導弾)】



【格闘ショー】

当日は、天候にも恵まれ約3000人が来場し、模擬戦闘訓練展示のほか、装備品展示では、11式短距離地对空誘導弾(短SAM)及び93式近距離地对空誘導弾(近SAM)を展示し、格闘ショーでは、自衛隊の格闘技術を披露しました。地域の方々や隊員家族に高射特科職種の役割や装備について、理解を深めていただき、募集広報及び記念行事の成功に大きく貢献しました。

また、創立70周年記念の節目行事の一環として、「70周年記念植樹」を実施し、松山駐屯地の更なる発展を祈念しました。



【記念植樹】

第14音楽隊 陸士長 長尾省吾

あまちゃんぼくちゃん

私の旦那は末っ子ぼんぼんのあまちゃんぼくちゃんです。  
末っ子らしく手もかかるし楽器を吹くのでお金もかかります。  
そんな旦那は人一倍どころか人十倍は運がいいと言っても過言ではありません。出会った頃は人生に絶望していた旦那ですが、人生は自分達の手で変えられるということを2人で立証してきました。

あの頃は夢のまた夢だった音楽隊に入隊することができ、今では忙しくも素晴らしい日々を送っています。旦那に出会えたことで悲観的だった私の人生も見違えるほど色鮮やかになりました。

これから2人でどんな人生が歩めるだろうと考えるとわくわくが止まりません。

ぼくちゃん、出会ってくれてありがとう。これからもよろしくね。



妻 尚子さんより



- 部隊 ▶ 第14後方支援隊  
くろだ たつき
- 氏名 ▶ 黒田 樹
- 出身 ▶ 香川県
- 趣味 ▶ フラッシュ暗算
- 好きなドリンク  
▶ モンスターエナジー



# 兵は胃袋とともに前進する！



今回は、隊員のエネルギー源となる「食」を支える  
第14後方支援隊に所属する黒田士長にスポットを当てています。

『糧食』は、隊員の生命・体力・士気を維持し、任務遂行能力を支えています。  
いかなる状況でも安全で安定した食事を提供し、部隊の行動を途切れさせない基盤を確保しています。

## 黒田士長に聞きました どんな仕事してるの？

私は、14旅団の部隊に対し、糧食の補給支援を任務とする補給中隊で勤務をしています。

糧食は、野外炊具を使用し調理を行う生鮮食品や、加熱することにより簡易に喫食することができる戦闘糧食等、様々なものがあります。どちらも隊員が野外で活動する上で、とても重要なものです。

「兵は胃袋とともに前進する！」という言葉がありますが、これからも自分の任務に誇りを持ち、部隊のために情熱支援を続けていきたいと思えます。

## 周りの方に聞きました 黒田士長はどんな人？

黒田士長はとにかく真面目！命ぜられた任務は、いかなる状況においても必ずやり遂げる！何事にもひたむきな姿勢は、補給中隊の活模範です。

現在、陸曹候補生として入校を控えておりますが、誰からも愛される笑顔と決してあきらめない不屈の精神で補給中隊の名を全国に轟かせてくれると確信しています。

襟に陸曹の階級章がついた暁には、ともに精強な部隊を作りましょう！

森本曹長



5つのピースが揃うとき、  
新境地へと花ひらく。

# 令和7年度 第14旅団音楽まつり

# PUZZLE

～響き合うかけら～

第1回公演

第2回公演

2026 **2.20**金 | **2.21**土

【自由席】

【全席指定席】

時間 開場 **12:30** / 開演 **13:30** [終演 **15:30**]

場所 **レクザムホール 大ホール**  
〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10 (香川県県民ホール)

**入場無料**

電子チケットは当選者にのみ送付いたします。

お申し込みはインターネットのみとなります

応募要領

Q 14りよだん 検索

詳しくは、14旅団ホームページで！  
2次元コードからもご覧になれます。



応募締切 ▶ 令和8年1月31日(土)

応募にあたっての注意事項

- ・20日(金)は自由席、21日(土)は全席指定席となります。
- ・応募はインターネットからのみとなり、応募者多数の場合は抽選をいたします。
- ・応募は一人1回までといたします。
- ・応募者1名に対し、同伴者の申し込みは1名といたします。
- ・未就学児のご来場は、ご遠慮ください。
- ・最新の情報は第14旅団ウェブサイト内の特設サイトよりご確認ください。



お問い合わせ：第14旅団司令部総務課広報班 TEL(0877)62-2311 内線(2256)



# 2025 BEST PHOTO



**YouTube**  
陸上自衛隊  
第14旅団公式チャンネル  
新設完了!

